

再評価実施事業調書

番号	2	事業名	河川事業		路線又は箇所名等		二級河川矢那川水系 矢那川		
事業所管課		河川整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	昭和63年度	用地着手年度	昭和63年度	工事着手年度	昭和63年度	工事終了年度	昭和63年度 令和17年度	再評価の理由	再々評価
費用便益比 B/C	2.1 (3.9)	総費用	94億円 (51億円)	総便益	198億円 (198億円)	基準年	令和元年	供用開始年度	令和17年度

※上段：全体事業費 下段（ ）：残事業費

【事業概要】

(目的)

矢那川は、木更津市の丘陵地に源を発し、木更津中心市街地を貫流して東京湾に注ぐ流路延長13.6km、流域面積34.48km²の二級河川である。昭和63年度から下流の矢那川橋から大正橋までの区間において河川改修事業に着手し、現在、富士見橋の架け替えに向けた準備を進めているが、平成8年、平成25年には市街地の浸水被害が発生しており、早急な治水安全度の向上が望まれる。再評価では、用地買収の難航等に伴い、事業期間を変更する。

(主な事業内容)

- ・事業延長 L=980m 工事内容 掘削、護岸、道路橋、鉄道橋

【事業の進捗状況】(令和元年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	81.0	17.0	64.0	21.0

【社会経済情勢等】

① 流域状況

本流域では、土地区画整理事業等の開発により市街化が進展しており、河川への流出増加が見込まれる。また、氾濫区域には、木更津市の中心市街地、JR内房線木更津駅周辺等を含み、水害発生時の被害、社会的影響が極めて大きい。さらに、今後も、東京湾アクアラインを中心とした都市開発等に伴う市街化の進展が見込まれる。

② 主な水害状況

- ・昭和57年 9月(台風12号) 浸水面積 10ha 浸水家屋数 103戸
- ・平成 5年 8月(台風11号) 浸水面積 1ha 浸水家屋数 10戸
- ・平成 8年 9月(台風17号) 浸水面積 5ha 浸水家屋数 8戸
- ・平成25年10月(台風26号) 浸水面積 19ha 浸水家屋数 124戸

③ 投資効果 [裸書：全体事業、()：残事業]

- ・浸水軽減戸数 2,010戸(2,010戸) 浸水軽減面積 97ha(97ha)

④ その他(関連事業)

- ・請西・千束台土地区画整理事業 H3~H13
- ・中尾・伊豆島土地区画整備事業 H4~H18
- ・上総研究学園都市開発 S63~

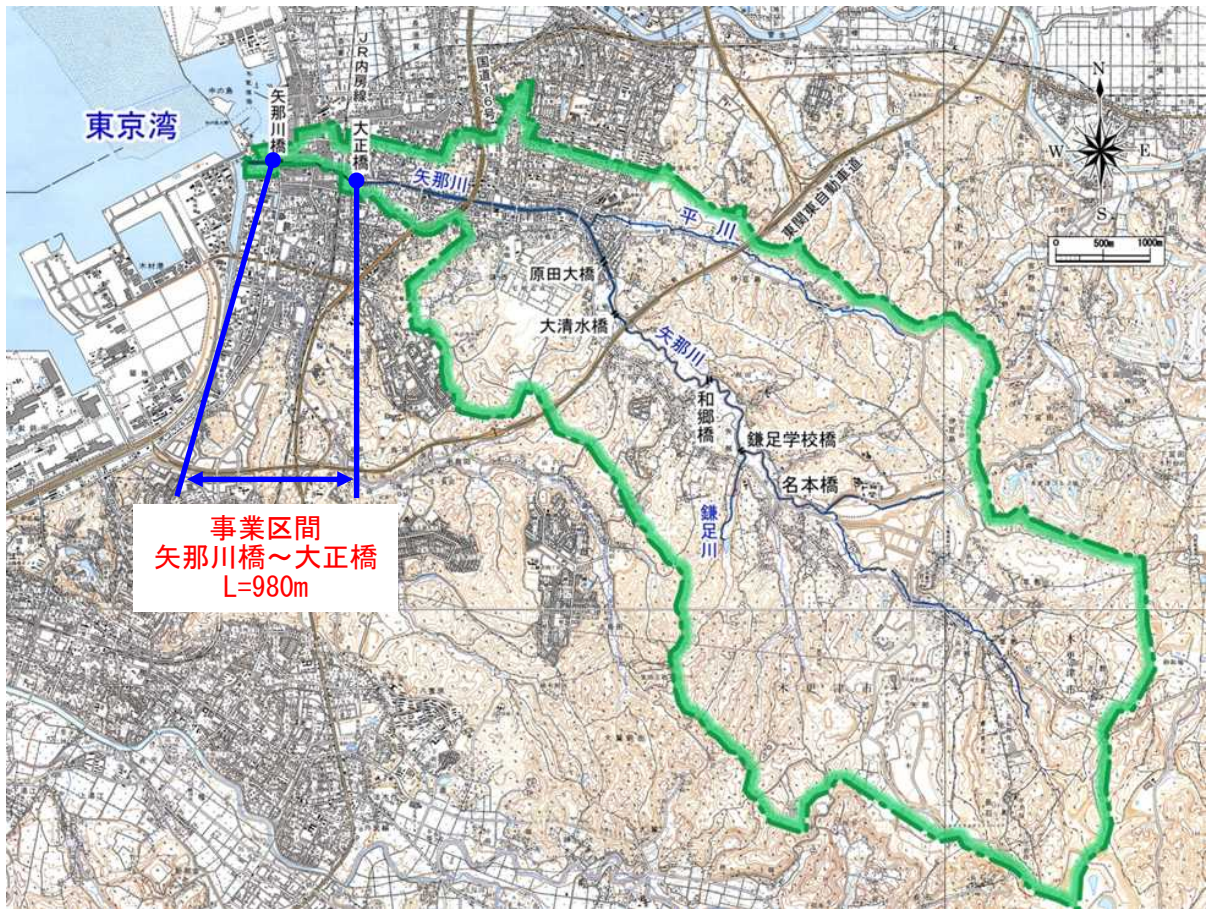
【対応方針(案)】

全体事業の費用対便益(B/C)は2.1(残事業3.9)であり、事業の投資効果が見込めること、また、今後も市街化の進展が見込まれ、地元からの要望が大きく、事業の進捗も見込まれることから、事業を「継続」する。

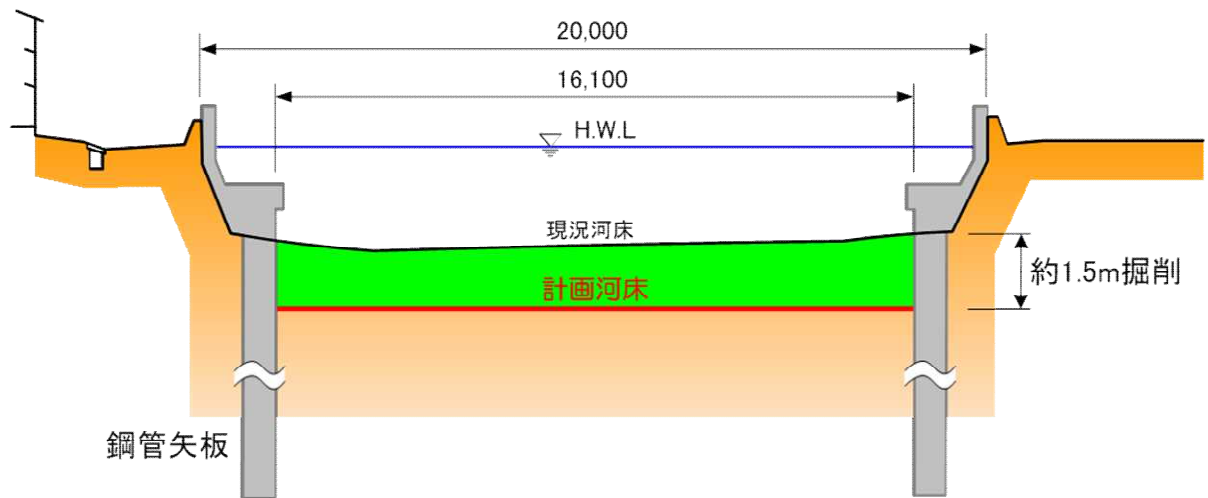
事業概要図

番号	2	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	二級河川 矢那川水系 矢那川
----	---	-----	------	----------	-------------------

計画平面図



代表断面図



再評価事業に関する調書

番号	2	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	二級河川 矢那川水系 矢那川
事業化年度	昭和 63 年度	用地着手年度	昭和 63 年度	工事着手年度	昭和 63 年度
【再評価(H26年度)の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	平成 26 年度	供用開始年度	平成 42 年度	対応方針	継続
B/C	2.9 [3.9]	総費用	64 億円 [47 億円]	総便益	185 億円 [185 億円]
(※上段：全体事業、下段：[]：残事業)					
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 ○継続することが妥当である。					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況 (H26)	5 年後の推定進捗状況		
全体事業費	81.0 億円	16.7 億円 (20.6%)	20.9 億円 (25.8%)		
うち用地・補償費	1.0 億円	0.62 億円 (62.3%)	0.99 億円 (99.0%)		
うち工事費	76.0 億円	14.4 億円 (18.9%)	17.1 億円 (22.5%)		
【再々評価(R元年度)の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	令和元年 (平成 31 年度)	供用開始年度	令和 17 年度 (平成 47 年度)	対応方針	継続
B/C	2.1 [3.9]	総費用	94 億円 [51 億円]	総便益	198 億円 [198 億円]
(※上段：全体事業、下段：[]：残事業)					
現在の進捗状況					
	計 画	進捗状況 (令和元年度)			
全体事業費	81.0 億円	17.0 億円 (21.0%)			
うち用地・補償費	1.0 億円	0.74 億円 (74.0%)			
うち工事費等	76.0 億円	14.4 億円 (18.9%)			
2 回の再評価後の経過及び処理状況	平成 21 年 11 月 第 21 回千葉県県土整備部所管補助事業評価監視委員会 (継続が妥当である) 平成 26 年 11 月 第 1 回千葉県 県土整備公共事業評価審議会 (継続が妥当である)				